

議会だより

2015年11月 北海道中川郡豊頃町議会発行



9月定例会

第3回定例会は、9月2日から開会され、町長から提案のあった補正予算など20議案、議員発議案3件を、いずれも原案どおり可決、3日は平成26年度各会計決算審査、8日に一般質問等を行って閉会しました。



会計名	補正額	総額
一般会計(第3号)	1億839万円	46億4千252万円
介護保険特別会計(第1号)	691万円	4億1千249万円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	96万円	5千796万円
公共下水道特別会計(第1号)	616万円	2億 993万円

補正予算の主なもの

◆十勝川河畔林等伐採物
処理委託に **230万円**

◆土地改良事業
農道・明渠維持補修 **770万円**

◆まちづくり推進費、
定住促進等住宅取得補助 **370万円**

◆公有財産購入費 **543万円**
旧はとや土地・店舗及び、隣接土地・建物購入

◆漁業経営近代化促進
事業補助 **94万円**

◆プレミアム付
特別商品券発行事業補助 **870万円**
町制50周年を記念して、25%プレミアム付き商品券発行に補助

◆町道改良・舗装工事 **2千700万円**
幌岡第3幹線舗装補修工事など
3路線の改良等工事

◆河川補修工事 **800万円**
昭和川など2河川の補修

※表示の金額は、一万円未満を四捨五入しています。



平成26年度 各会計の歳入歳出決算を認定

各会計の歳入歳出決算額

【単位：円】

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	繰越明渠費 繰越額	実質収支額
一般会計	4,703,347,520	4,593,471,518	109,876,002	32,384,000	77,492,002
国民健康保険特別会計	615,588,877	589,464,819	26,124,058	0	26,124,058
介護保険特別会計	397,183,525	382,575,563	14,607,962	0	14,607,962
後期高齢者医療特別会計	57,841,546	57,415,762	425,784	0	425,784
医療施設特別会計	139,040,501	138,490,058	550,443	0	550,443
簡易水道特別会計	281,518,134	273,174,425	8,343,709	0	8,343,709
公共下水道特別会計	207,248,455	205,220,489	2,027,966	0	2,027,966

平成26年度一般会計ほか6特別会計の歳入歳出決算は、町監査委員の決算審査意見書と共に提出され、本会議において審議を行った結果、各会計とも認定すべきものと決定しました。各会計の決算額は、上記のとおりです。

主な審議内容

平成26年度決算

- Q** 学校給食費に収入未済み額があるが、生活困窮者では？
- A** 2件の方が未済みで、1件の方は既に納付済み。もう1件の方も、一部納付済み。今後は計画的に納付していただく。生活困窮者には町で就学援助を行っている。今回の方にも説明をしているが、対象ではない方であった。
- Q** 町税収入が前年度と比較して減額となっているが？
- A** 町民税は、農業所得、給与所得の減が影響している。固定資産税は、償却資産の償却した部分の減が考えられる。たばこ税は、喫煙者の減が考えられる。
- Q** 定住促進賃貸住宅建設事業の今後は？
- A** 平成27年度は、独身者向け2棟8戸又は1棟8戸の建設を募集している。今後も、転入などの状況を見ながら事業を進めていきたい。

- Q** 住宅取得補助金は、町の空き地、空き住宅解消にもつながるので、積極的に取り組んでほしい。広報などで周知し、これからも積極的に取り組んでいく。
- Q** 住宅建設費で茂岩末広町団地個別改善工事を実施しているがどのような内容か
- A** 天井断熱、内窓サッシの取り付けと換気扇の取替えを実施
- Q** 壁紙もかびている部分が多いと聞くが、改修予定は？
- A** この事業は、長寿命化対策として行っているもので、壁紙は考えていない。壁紙は入居者が退去されて次の入居者が入るときに破損している場合に取替えることになっている。
- Q** 玄関の改修は？
- A** 昨年の改修で、玄関ドア4棟8戸取替えを実施している。
- Q** 林業研修センターが非常に老朽化しており、使っている様子もないが、今後の考えは？
- A** 現在は、イベントの資材等を保管しており、研修センターと



しては使用していない。できるだけ早く取り壊し、建て替えたいと考えているが、補助事業で建設したため、補助対象期間が残っている。今後、道と協議し、補助金返還も考慮しながら検討しよう。

Q 茂岩山にあるステージの建物についても使用されていないようだが？

A 敷地を民間企業に貸しているため、目的としているステージとしての使用は難しい。補助事業で建設しているため、今後対応を検討したい。

Q 役場前道路に、時計と温度計があったが、温度計が外されたままになっているが？

A 温度計を設置する環境でなかったため、誤差も大きく、破損したため取り外した。今後の設置は考えていない。

Q 下水道処理場の建物が老朽化しており、外観も良くない。今後、どう考えているのか？

A 19年が経過しており、機械、電気設備、施設について、来年度から改修工事を計画している。

Q 町立医院の2階部分について、現在どうなっているのか。今後の活用はどう考えているのか？

A 前院長は「利用計画がある」とのことだったが、結局何の利用もなかった。現院長とはまだ協議をしていないが、医療に関することに活用したい。

Q 旧歯科診療所は現在どのようになっているのか？

A 社会福祉協議会がデイサービス事業に使用した後、現在は帯広市にある医療機関の在宅リハビリ東部拠点施設として賃貸契約をしている。

平成27年度度補正予算等

Q 個人番号カードについて、9月1日に各世帯に配付された冊子だけでは理解が難しく、今後どのようにに町民にこの制度を知らしめるのか？

A 広報紙7月号で制度の概要を、9月号の広報紙の配付に併せ、小冊子を、また10月からの通知カードの発行が開始されることから、さらに広報紙で分かりやすく掲載する予定である。今後は様々な会議の場や高齢者に対し直接、制度の目的などの基本的な事項について説

明する機会を設け、町民の理解を深めたい。

Q 農村サポート施設修繕料45万円の内容と今後の修繕予定は？

A 今回の修繕は、トイレ便座5基のウォッシュレットへの改修と施設裏口の段差解消の補修。今後の修繕予定は無いが、利用に支障が出ないよう、また周辺の景観に配慮し、管理していきたい。

Q 豊頃南町公営住宅の老朽化・美観の改善は？

A この団地で生活する方々づくりに改善は難しいが、建物も古くなってきているので、改善方法など住民の方々との話し合いを進めていきたい。

Q 豊頃南町民間賃貸住宅建設に伴う住民迷惑の解消を！

A 昨年度3棟の賃貸住宅建設を一斉に行ったこともあり、地域住民の方々に迷惑を掛けた。今年度2棟の建設に当たっては、工事関係者との調整、住民説明を徹底し進めたい。

Q 団地内の物置、ガレージの無造作な設置により冬期間の除雪に支障があるので改善策を！

A この団地内の物置は、町が設置し、車庫については、個人で建てたものである。現状は狭い通路に物置や車庫が建っているため、重機が入るのが難しい状況である。3年後から予定の建替えに併せ、改善したい。

意見書

▷ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)

委員会レポート

産業厚生常任委員会で8月24日に、「農作物の作況について」所管事務調査を行いました。

町内の農作物の作況について、8月24日に開催された町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行して調査した。

調査当日は、町内の9圃場9作物について一圃場ごとの作物の草丈、着莢数などの生育状況や、病虫害の発生状況、農作業の進捗状況及び今後の注意事項などについて説明を受けた。

本年は、4月下旬から5月上旬にかけて天候に恵まれ甜菜の移植作業や馬鈴薯の植付作業、豆類の種作業は平年並みだったが、その後の好天候により、順調に生育している。

調査時点での作物ごとの生育状況は、豆類については、6月4日の風害により、再播、播き返しの面積が約240ヘクタールとなり、その後も干ばつ等により生育の遅れもあったが、7月後半からの好天と降雨により、平年以上の収量が期待できる状況である。甜菜についても、病気も少なく、根



農作物作況調査

中糖分も多く、高収量が期待される。馬鈴薯も、5月の干ばつの影響を受け生育が停滞していたが、その後の降雨により平年並の収量が見込まれる。

牧草について、1番草は、収量が平年をやや下回ったものの、2番草は順調に生育している。デントコーンは干ばつによる水分不足のため、平年より草丈が短く、昨年より収穫量の減少が懸念される。

なお、現地調査は行わなかったが、すでに収穫作業の終了した秋まき小麦については、5月の干ばつの影響が懸念されていたが、その後の好天により、平成23年から収穫の品種「きたほなみ」で初めて、期待収穫量に達した。

調査時点での状況は以上のとおりであるが、今後の台風等により作物への影響が懸念されるところである。

また、今後においては、病虫害による被害、霜の降りる時期によっては豆類の収穫に悪影響を及ぼすことも考えられる。

全的に中長期的な明・暗渠排水などの農地基盤整備対策や、平成20年度から行われている土層改良を目的とした圃場への泥炭土の受け入れ継続など、安定的な収量確保に向けた対策を講じることや、本格的な収穫期を迎えるにあたり農作業事故の注意を喚起するよう関係機関等とおして指導を徹底されたいなどの意見が出された。

議会広報

研修会参加報告

去る、8月19日札幌市において議会広報研修会が開催され、議会だより発行を担当している議会運営委員会委員4名が参加しました。全道107の町村から575名が参加し、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に「議会広報紙の表現基本」のテーマで講演があり、「住民にわかりやすい紙面づくり」や、「多くの住民に読んでもらえる編集の工夫」などについて学びました。研修後、今後の広報づくりに活かしていくことを全委員で確認しました。



北海道町村議会議長会主催広報研修会



一般質問



岩井 明 議員

選挙権年齢引き下げへの対応は

Q 公職選挙法改正に伴い、有権者の年齢が18歳となるが、町として新たな有権者となる若者への制度の理解や意識高揚のための方策は？

A 宮口町長

国、道は高校生を対象に、啓発教材の配布や講義を実施する予定。町としては、広報等で若い世代への啓発を考えている。

Q 来年、7月に参議院選挙が予定されており、選挙人名簿への登録が3月末から4月となり、転入、転出時に重なり複雑となるのでは？

A 宮口町長

選挙人名簿への登録についても広報等を通じて、選挙権を行使できるように周知していく。

Q 小中学生への啓発活動をしている市町村があると聞いているが？

A 宮口町長

教育委員会と協議しながら、中学生に対する教育を考えたい。

介護制度改正に対する対応は

Q 介護認定者が増加しているが、「介護予防事業」の取り組み状況は？

A 宮口町長

65歳以上の高齢者は昨年度末、1244人で218名が認定をつけている。介護予防の必要な高齢者を把握するため、生涯教室等で「基本チェックリスト」を実施し、予防が必要な方を対象に「転倒予防教室」「脳いきいき教室」「元氣かみたへ教室」などの事業を実施し、生活機能の維持向上を図っている。昨年度は20人参加。

Q 高齢者の人数に比べ、予防教室参加者が少ないのでは？

A 宮口町長

できるだけ参加していただくよう努力している。併せて社会福祉協議会への委託事業の「いきがいデイサービス」「いきいき健康教室」などの事業により、高齢者が明るく健康に生活でき、要介護・要支援への進行が抑制されるよう、今後も努めていく。

Q 制度の改正により、要支援者へのヘルパー派遣やデイサービス利用が保険給付から外され、市町村の総合事業へ移管されるが、町としてどう対応するのか？

A 宮口町長

本町は、移管の時期を平成29年4月と考えており、各事業所と協議を進めている。総合事業に移管しても従前どおりのサービスが受けられるよう配慮していく。新たなサービスについても事業所と協議し、地域の実情に応じたサービスを検討したい。

Q 国は移管の時期に猶予期間を設けているが、それは事業者の確保が困難だからでは？

A 宮口町長

介護サービスの移管は国の施策だが、サービスを受けている方が安心して暮らせるよう、町が責任を持つ

て福祉の向上に努めなければならぬ。今後、関係者と協議していく。

Q 特養への入所が「要介護3」以上になり、要介護1、2で行く当てのない介護難民が予想される。入所希望者への実態に即した対応が求められると思うが、町としてどう対応するのか？

A 宮口町長

要介護1、2の方でも、事情があり、在宅での生活が困難な場合は、市町村の適切な関与のもとに、特例的に入所が認められている。入所は施設の「検討委員会」で判断するが、町の意見が求められるので、介護の必要性、家族の状況から保健師等が情報を収集し、より適切・公平な意見を付して入所決定されるよう努めていく。

Q 介護のための退職者、介護疲れによる悲惨な状況を作らないような対策が必要なのは？

A 宮口町長

介護度が低くてもいろいろな事情がある場合は、できるだけ入所できるように、特別枠の中で努力していく。



相澤 昌幸 議員

民有地の管理指導と活用は

Q 町内に、長期間手付かずの民有地があり、火災等が懸念される。町として適正に管理するよう指導できないか？

A 宮口町長

空き地所有者には、毎年固定資産税通知書に、適正に管理する旨の文書を同封して指導している。住宅地に隣接している空き地は住民の生活環境にも影響があるので、不良状態の場合には、その都度指導をしよう。

Q 民間アパートが建築されたが満室状態。若者定住施策の観点からも住宅の確保は必要。民有地を買収して住宅環境を整備しては？

A 宮口町長

若者の移住・定住には住宅環境整備は、最も重要課題。これらを解消するために、「住宅取得補助金」「民間賃貸住宅の建設補助」「民間賃貸住宅家賃補助」等、積極的に取り組んでいる。豊頃南町の分譲地は完売しているため、必要に応じ、民有地の利用も検討しよう。



小笠原茂人 議員

全国学力学習状況調査での豊頃町児童生徒の結果は

Q 今年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象として「全国学力テスト」が実施されたが、豊頃町の水準は？

A 菅原教育長

今回の結果は、当該町分のみ送付されており、十勝管内での状況は、道教育委員会が別に公表すると思われる。学習、生活習慣については、今後、町教育研究所で分析を行い、12月広報にて公表予定。昨年の結果

は、小学生は全国、全道の平均をやや下回る結果。中学生は平均とほぼ同様。自尊心・夢・目標を持つことが高い数値を示した。今年度の教科に関する正答率は、小学校、中学校共に全てにおいて、全国、全道の平均を上回っている状況。

Q 都道府県別の公表で、毎年上位にランキングしている県があるが、北海道とは基本的に何が違うのか？

A 菅原教育長

今、北海道が取り組んでいる「家庭学習や学習規律の取り組みについての活動」を、秋田県、北陸3県は、20年前から始め、結果として、主体的な学習態度が身に付いたと聞いている。

給食センター調理不能時の対応は

Q 給食センターにおいて調理に問題が発生した場合の対応マニュアルはどのようなものになっているか？

A 菅原教育長

緊急時の対応マニュアルは策定していないが、道教育委員会が、危機管理の指針として示している手引きに沿って、豊頃町の実情に応じて対応することとしている。

Q 帯広市で、炊飯ラインに不具合があったときに防災備蓄品で対応したと報道があったが、豊頃町の対応は？

A 菅原教育長

代替食品の用意はしていないが、米は1ヶ月分購入しているため、翌日の食材を充当することができる。災害時の備蓄については、今後検討したい。

学校給食の地場産品の割合は？

Q まちづくり総合計画では道産食材の利用割合を40%から目標値70%となっているが現状は？

A 菅原教育長

食材の安全・安心を重点的に進めており、現在は道産食材が86%となっている。

Q 地元産食材には限りがあるが、ジャガイモひとつとっても、種類が多く、色も肉質も違う。カラフルなジャガイモを食育に活用しては？

A 菅原教育長

食材を豊頃産でまかなうのは理想だが、現実的には大きな割合になっていない。ジャガイモ等の地場産の活用は、十分検討したい。

放置されている豊頃南町民有地



大崎 英樹 議員

地方創生総合戦略に於ける人口減対策と豊頃町第4次総合計画の関わりは

Q 国の地方創生施策を町長はどう受け止めているか？

A 宮口町長
国が進める地方創生に関する諸課題については、本町の課題として以前から第4次総合計画の中で積極的に取り組んできた。今回の施策を受けて、これまで以上に人口減少対策を積極的に推進したい。

Q 我が町の人口推計は

A 宮口町長
国の人口問題研究所では、豊頃町の人口が10年後には2498人、30年後には2045人、45年後の2060年には1012人と推計されている。

Q 人口減を食い止める既策と今後の対策は？

A 宮口町長
人口減の対策では、民間賃貸住宅の建設や個人の住宅取得等の助成など住宅環境の改善を図ってきた。また出産時や就学前の子どものある世

帯や小・中学生や高校生の世帯への各種助成により安心して住みやすい町づくりを進めてきた。今後の対策では、これら第4次総合計画に盛り込まれた事業のうち、早期の実施が必要なものをピックアップし、その対策に繋げる。

Q 企業誘致を進める考えは？

A 宮口町長
企業誘致は、行政サイドの情報だけでは難しい。様々な方からお寄せいただいた企業誘致に関する内容を吟味・検討し、できる範囲で支援したい。

Q 今後の町づくり施策で特色ある観光資源の活用をどのように考えているか？

A 宮口町長
本町の観光資源は、十勝川や太平洋海岸線の湖沼群をはじめ高山植物や野鳥、河川敷のはるにれの木などの豊かな自然。そして二宮尊徳縁の地、報徳のおしえを受け継ぎ、優しい町民性を育む町であり、こうした特色を生かした東十勝ロングトレイル事業やこつく観光事業などを通じて町の魅力を発信したい。

Q 福祉ゾーンの整備における特養

施設の今後の計画と町の対応は？

A 宮口町長
茂岩高台の特養施設は、建設から33年程経過し、早急な建替えの検討が必要と認識している。建替には膨大な資金が必要であり、社会福祉法人豊頃愛生協会の建設計画がまとまれば、町の財政支援も計画できる。

Q 福祉タクシーや福祉灯油事業等

についての今後の考え方は？
A 宮口町長
福祉タクシーは、利用者から大変好評を得ている。現在、市街地からの距離により交付枚数に差を付け支給しているが、今後においては、季節による交付方法も検討したい。また、福祉灯油については、年間使用量を定め一定量を支給している。灯油が高騰しても、その一定量は今後も維持したい。

Q プレミアム商品券発行事業（地方創生施策）の今後の考え方は？

A 宮口町長
プレミアム商品券は大変好評をいただいております。昨年度に5パーセント上乘し、今年度は町制施行50周年記念で25パーセントのプレミアム率として発行した。国・道の交付金等が今年度限りとの情報もあり、来年度

以降は財政状況を見ながら、第4次総合計画に沿って20パーセントを維持継続したい。



坂口 尚示 議員

農地における鹿の駆除対策は

Q 現在、猟友会が中心となって駆除を行っているが、頭数が減少しておらず、農作物への被害が拡大している。国、道に対し、大規模な駆除を実施してもらうよう働きかけはできないか？

A 宮口町長
有害鳥獣駆除は、猟友会の協力を得て対策を講じており、積極的に被害の減少に努力している。道東の町で自衛隊の訓練と連携して駆除を実施したが、大きな成果は得られなかったと聞いている。

Q 白糠町で実施の駆除は、自衛隊が駆除したのではなく、鹿を見つけ

て猟友会に知らせただけ。自衛隊の力で駆除を実施できないか？

A 宮口町長
自衛隊は国防が主で鹿の駆除は難しい。地道な駆除対策を継続して個



体数の抑制、減少を図ることが現実的。そのため、猟友会の充実のため、新規狩猟免許取得者への助成等を行っている。また、平成23年度から3年間、電気柵導入補助を実施している。



群れで行動するエゾシカ

Q 駆除した数よりも生まれる数が多く、電気柵を導入しても下草をこまめに刈らないと効果がなく、絶対的な解決にはならない。十勝川河川敷地には柳が自生しているが、大胆に伐採して、鹿の住めない環境づくりをすべきと思うが？

A 宮口町長

今後とも猟友会と協議、支援をしながら駆除の努力をしていく。自衛隊への協力体制は難しいが、十勝町村会、近隣町村と協議しながら鹿の駆除対策に努めたい。

滑川市議会議長来町

9月13日に、本町の姉妹都市である富山県滑川市議会議員15名全員が来町しました。

一行は、とよころ産業まつりに参加し、当町議員と交流を深めました。産業まつりは時々雨の降るあいにくの天気でしたが、岩城議長をはじめ議員のみなさんは当町の特産品の秋あじ、じゃがいも、とうもろこしなどを堪能されました。帰りのバスからは丹頂の親子づれも見ることができ、北海道の思い出を胸に当町をあとにしました。



とよころ産業まつり

相馬市議会議長来町

9月18日に、本町の姉妹都市である福島県相馬市議会佐藤議長、谷津田議会事務局長、星総務部長が来町しました。



尊親翁墓前にて
谷津田局長・佐藤滑川市議長・藤田議長・星部長

一行は、相馬市ゆかりの二宮神社、尊親翁のお墓を参拝され、その後、ハルニシの木など豊頃の名所を見学されました。
みなさんは、広大な十勝平野の風景と畑一区画の大きさに驚きの声をあげられながら当町をあとにしました。

議会日誌

- 〔8月〕
 - 19日 町村議会広報研修 〓 札幌市
 - 24日 産業厚生常任委員会 (農作物作況調査)
 - 28日 議会運営委員会
- 〔9月〕
 - 2日 第3回定例会(1日目) (補正予算、その他)
 - 3日 総務文教常任委員会
 - 3日 産業厚生常任委員会
 - 3日 第3回定例会(2日目) (決算認定)
 - 8日 第3回定例会(3日目) (一般質問、その他)
 - 13日 滑川市議会議員来町
 - 18日 相馬市議会議長来町
- 〔10月〕
 - 23日 十勝町村議会議長会主催 議員研修 〓 土幌町
 - 30〓31日 札幌豊頃会 〓 札幌市
- ◎今後の予定
 - 〔11月〕
 - 10〓11日 全国議長大会 〓 東京都
 - 14〓16日 東京豊頃会 〓 東京都
 - 〔12月〕
 - 中旬 第4回定例会